

日本人にベジタリアンをカミングアウトすると、ベジタリアンがめずらしいと言う事もあるので、

- どうして人と違う事をするの？
 - アヤシイ宗教にでも入ったの？
 - なぜなぜ？ どうして？
 - みんな肉を食べてるのになぜ貴方は食べないの？
- と言われる事が多いです。



“右に習え”
“めだちたくない”
“みんなと一緒に”
“出る杭は打たれる”

現在の日本では、カミングアウトもなかなかできないのが現状です。外国人に「私はベジタリアンです」と言うと、少し尊敬されたりもします。それと、個性を大切にしてくれるので、あまり深く立ち入ってきたりする人はいません

菜食をカミングアウトした時の 回りの反応

私は自分が菜食をはじめたと言う事をすすんで言って回っていました。それは始めたばかりで嬉しいのと、自分なりのまわりの意識調査みたいなものも兼ねていました。

そうしたら、いろんなタイプがいる事がわかりました。

1. 菜食家と距離を置く人。

なぜに菜食に全く意味がわからず、栄養がそろわないのでは？不便ではないか？と考え、またはその話(菜食)に触れようとしない。

1. 菜食家を嫌う人。

崇高ぶって。聖者ぶって。宗教からんでるの？または肉食する人を差別視しているのでは？と考える人もいる。

2. 菜食家を尊敬する人。

菜食家は見慣れているのか、驚きも疑問も持たず、そっとして置いてくれる。または少し敬われる。アメリカ人など外国人に多い。

3. うしろめたがる人。

動物が好きまたは身近に飼っているなどで動物愛護精神は人一倍なのに、なにかと理由をつけて肉食を正当化する人。その理由には迷いが感じられるので菜食をしないのは、うしろめたい気分になる様子。

菜食に傾倒するが、菜食には転向しない人。

ただ便宜上や習慣性、付き合いなどで不自由を感じるのがいやなので肉も食べている人。あまり深く考える機会がないだけなので、こういう人は時期が来れば菜食になれると思う。